

太宰春台ここに眠る

東京・上野の山につながる谷中にはその数60とも80ともいわれる寺院や墓地がひしめいている。その中の1つ、天眼寺（谷中1-2-14）に東京都指定史跡「太宰春台の墓」があるから取材せよとの指令を受けてしまった。あーあ。

“ユダの世より抜け出でて、骨あるジュシャの名を得たる、ダザイシュンダイ先生は、昔この地に生まれたり…”。この歌詞ではじまる校歌第3節はいつの頃からか省略され忘失されたらしく「春台って何だい?」「山口お藤?…知りません」という後輩が多いのだそうだ。我々の頃は、全節ぶっ通して歌ったから言葉は耳に慣れてはいるものの、その実人物理解はまことに怪しくおぼつかない。

飯田生まれの少年が後に「骨ある儒者」の名声を得て延享4年(1747)5月死去。享年68。墓碑には正面に隷書で「春台太宰先生之墓」。側面背面にピッシリ銘文が刻まれているが哀しいかな難しくて読解不能。歩みよってきた谷中の黒猫が記者の不学を慰めてくれた。 (牧)

